

(様式1)

教こ第 851 号

令和6年6月24日

文部科学大臣 殿

糸魚川市長 米田 徹

義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律第12条第4項に基づき、下記のとおり施設整備計画を変更したので提出します。

記

1. 施設整備計画の名称

糸魚川市公立学校等施設整備計画

2. 計画期間

令和6年度（1年間）

(担当)

糸魚川市教育委員会事務局こども課

(様式2)

### 3. 施設整備計画の目標

#### (1) 老朽化対策を図る整備

※個別施設計画等の他の計画において、施設整備計画期間中の老朽化対策のための目標を定めている場合には、当該他の計画を引用することができる項目

#### (2) 新時代の学びを支える安全・安心な教育環境の確保を図る整備

能生小学校については、発災時における児童等のための応急避難場所としての必要な機能が発揮できるよう防災機能を強化するため、高置水槽の更新のほか、安定した給水ができるよう給水ルートを変更し、教育環境の改善を図る。

「糸魚川市公共施設等総合管理指針」及び「糸魚川市学校施設長寿命化計画」を指標とし、児童・生徒数の現状と将来推計を踏まえて、地域振興、財政計画との整合を図りつつ、これまでの改築(建て替え)中心の整備から、長寿命化に重点を移し、老朽施設の大規模改修及び予防保全の修繕を計画的に行っており、田沢小学校については空調設備の整備を行い施設の安全性を確保する。

#### (3) 教室不足の解消等を図る整備

#### (4) 教育環境の質的な向上を図る整備

糸魚川小学校については、通級指導教室として使用できる空き教室がなく、また併設のひすいの里総合学校(特別支援学校)も教室が不足していることから、糸魚川小学校の教室に間仕切りを設置することにより、双方が使用できるよう障害のある児童の学習環境を改善する。

(5) 施設の特性に配慮した教育環境の充実を図る整備

--

4. 域内の義務教育諸学校等施設の整備状況

※地方公共団体において策定・公表する既存の類似計画に同旨記載がある場合には、当該地方公共団体の判断により任意に記載することができる項目

(1) 現在の学校等の整備状況

学校等		学校等
小学校		13 校
中学校		4 校
義務教育学校		0 校
中等教育学校(前期課程)		0 校
特別支援学校(小学部及び中学部)		1 校
幼稚園等(特別支援学校の幼稚部を含む。)		2 園
高等学校等(特別支援学校の高等部及び中等教育学校の後期課程を含む。)		0 校
教員及び職員のための住宅		3 戸
学校給食施設	単独校調理場	11 箇所
	共同調理場	1 箇所
スポーツ施設	学校水泳プール	13 箇所
	学校武道場	4 箇所
	社会体育施設	0 箇所

(2) 整備に関する計画の策定状況

計画名	策定の有無	策定年月日
個別施設計画※1	有	平成30年3月
国土強靱化地域計画※2	有	令和2年6月

※1 インフラ長寿命化基本計画(平成25年11月29日)に基づく、個別施設毎の長寿命化計画。

なお、『個別施設計画』として策定していない場合でも、個別施設計画に記載すべき事項を他の類似の計画により確認できる場合(学校施設と他の公共施設とを合わせた計画を策定している場合等)には、「策定済」とすることができることとする。

※2 強くしなやかな国民生活の実現を図るための防災・減災等に資する国土強靱化基本法(平成25年法律第95号)

5. 施設整備計画の目標の達成状況に係る評価に関する事項

計画期間終了後、事後報告を実施し、その所見等について次期施設整備計画に反映させる。評価結果は市ホームページで公表予定。

